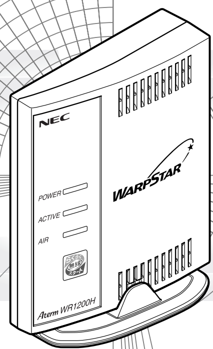
WARPSTAR

NEC

Aterm® WR1200Hシリーズ

取扱説明書 第1版



Total 802.11® G ATHEROS

Total 802.11 Super G™ ATHEROS

・本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

・「ソフトウェアのご使用条件」は、5ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
Aterm WR1200H（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11b（2.4GHz帯）、IEEE802.11g（2.4GHz帯）の無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。
本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。
AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、[サポートデスク]－[機能詳細ガイド]を選択してください。

お知らせ

●本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTARベース	無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WR1200H	WR1200H（親機）
WARPSTARサテライト	無線LAN端末（子機）
Aterm WL54GC	WL54GC（無線LANカード）
Aterm WL54GU	WL54GU（無線USBスティック）

■電波に関する注意事項

- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4
■■■

2.4	:2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF	:DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4	:想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■	:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Aterm WARPSTAR は、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox は、米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
PLAYSTATION®、プレイステーションおよび PSP® は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
ニンテンドー DS®、Wii® は、任天堂株式会社の商標または登録商標です。
JavaScript は、米国 Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Atheros G、Super G および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc.の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。
本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC ・ NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・ NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有するAtermシリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から1年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになったAtermシリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 警　告

- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。

⚠ 注　意

電源

- 本商品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品のACアダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後、ACアダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり一定箇所を触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

その他のご注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。
  安心してお使いください。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LANに関する注意

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド：AtermStation（http://121ware.com/aterm/）より、［サポートデスク］－［機能詳細ガイド］を選択してください。

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。
① 無線 LAN カード、無線 USB スティック用のドライバー式（Windows® 版）
② 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行う「らくらく無線スタート EX」（Windows Vista® および Windows® XP（Service Pack 2 以降）のみ）

【ご使用上のご注意】

- Windows Vista® の場合、添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ※ Windows® XP の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
  （例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q ： ¥menu.exe）
- CD-ROM をパソコンから取り出す時は、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® XP でドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

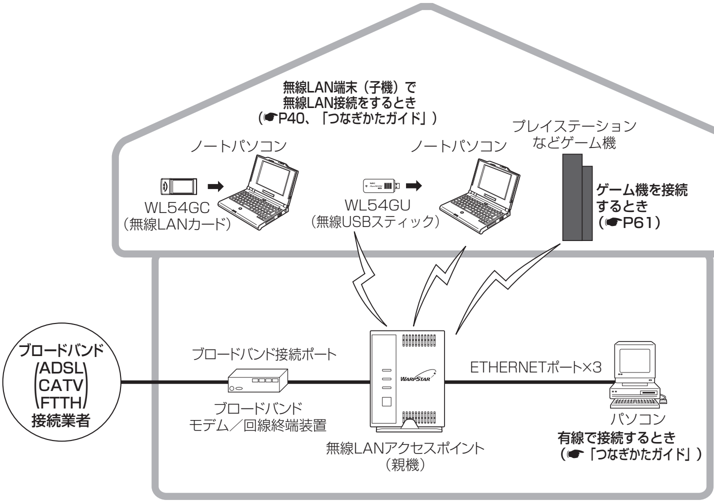
■ CD-ROM の動作環境

- **Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2）が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**
  ・ Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
  ・ハードディスク容量： 40MB 以上を推奨
  ・メモリ容量： Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨
  　　　　　　　Windows® XP の場合、256MB 以上を推奨
  ・800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
  上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

※本商品の対応 OS については、P31 を参照してください。

1-1 本商品でできること

本商品は、外付けADSLモデム／CATVケーブルモデム／FTTH回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。



インターネットに接続するまでの接続、設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
本商品では、さらに本書の「3　本商品を使いこなす」およびホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

お知らせ

●本書では、機器名称を次のように呼びます。

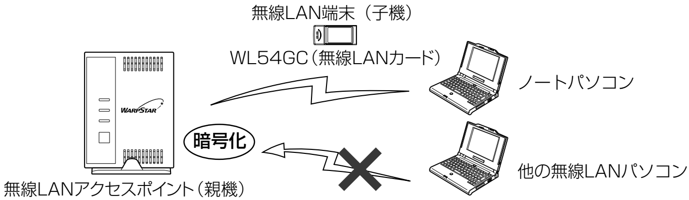
機器名称	本文中で使用している名称
ADSLモデム、CATVケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH回線終端装置	回線終端装置

■無線 LAN 通信

●**IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。**

※無線で届く範囲は、環境によって異なります。

●**無線 LAN 内のセキュリティ対策**
他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されるのを防いだり、無線通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☛P64）
無線通信が外から覗かれたり、無線 LAN アクセスポイント（親機）に他の無線 LAN 端末（子機）が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をすることをお勧めします。



●**無線 LAN 端末（子機）を増設する（☛P76）**
無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11b 通信：WL54GC/WL54GU/WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/WL54TE/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/WL11U/WL11U（W）/WL11E2

IEEE802.11g 通信：WL54GC/WL54GU/WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/WL54TE

※WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。
※接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。
※WL11E2 を接続する場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 暗号化設定は、WEP128bit 16 進に設定を変更する必要があります。
※無線 LAN 端末（子機）の対応 OS については、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）
無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

●**無線 LAN 端末（子機）どうしで通信する（アドホック通信）（Ⓦ機能詳細ガイド）**
無線 LAN アクセスポイント（親機）を経由しないで、無線 LAN 端末（子機）どうしでデータ通信ができます。

※ IEEE802.11b 通信のみです。IEEE802.11g 通信には対応しておりません。
※ WL300NC/WL130NC/WL54SE/WL54SE2 では、アドホック通信（アドホックモード）はご利用になれません。

■セキュリティ対策をする（☛P64）

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（機能詳細ガイド）

・IP パケットフィルタリング
・アドバンスドNAT（IP マスカレード／NAPT）
・不正アクセス検出機能
・ダイナミックポートコントロール機能

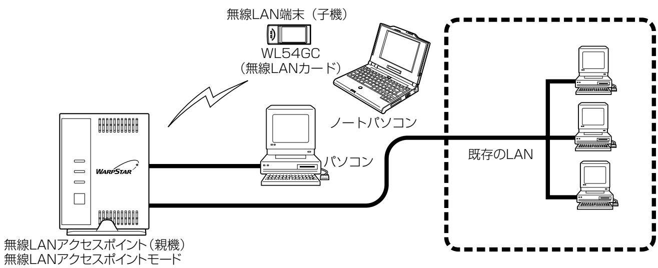
■オートチャネルセレクト

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、電波状態の良いチャネルを自動選択します。
最大 11 チャネルから選択可能です。

■本商品を無線 LAN アクセスポイントとして使う（☛P71）

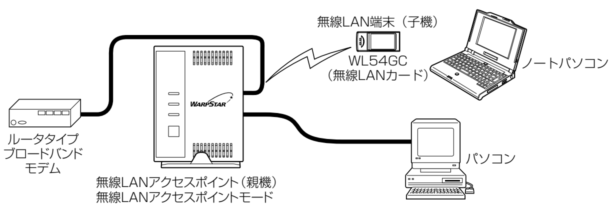
●既存 LAN に接続する場合

既存 LAN に有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線 LAN アクセスポイントとして使用することができます。



●ルータに接続する場合

ルータタイプのブロードバンドモデムに接続するときには、本商品のルータ機能を停止してアクセスポイントモードで接続します。



1 お使いになる前に

■ゲーム機を接続する（☛P61）

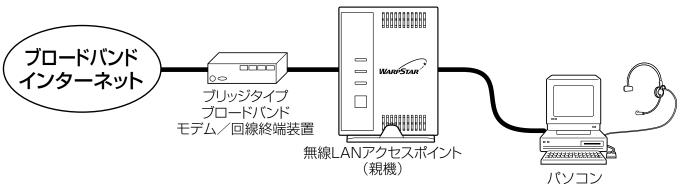
“PlayStation® 3”などのネットワークゲーム機を接続することができます。
使用するゲーム機やゲームソフトがPPPoEでの通信を前提としている場合は、PPPoEブリッジ機能（☛P68）で接続できます。（※使用する回線がPPPoE接続方式の場合のみ）

■パソコンのネットワークゲームやTV電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

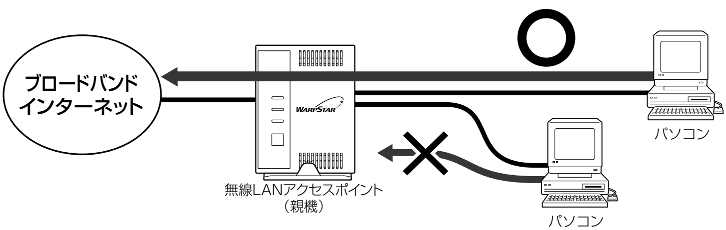
- ・ポートマッピングの設定（☛P70）
- ・PPPoEブリッジ機能（☛P68）
- ・IPv6ブリッジ機能（☛P69）
- ・シングルユーザアクセスモード（機能詳細ガイド）

また、UPnP機能を使用してWindows Vista®の“Windows Live Messenger”、Windows® XPの“Windows Messenger”サービスなどでTV電話などの機能をご利用になれます。（☛P70）



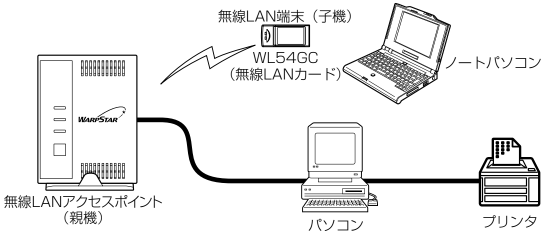
●シングルユーザアクセスモード（機能詳細ガイド）

ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に1台のパソコンでインターネット接続を占有できます。



■ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

（機能詳細ガイド）



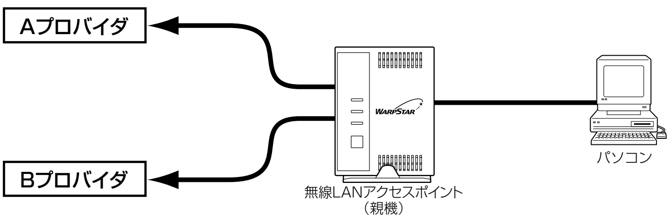
※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■インターネットの通信を切断する

- クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］で切断できます。（機能詳細ガイド）
- 無通信監視タイマ（機能詳細ガイド）

■複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定Webで複数の接続先を登録できます。



●PPPoEマルチセッション（☛P67）

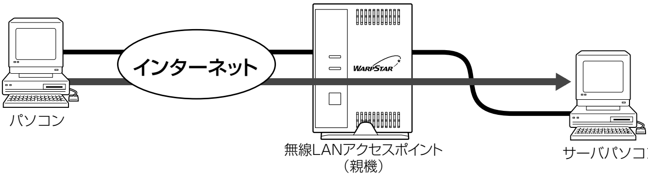
1つの回線契約で複数（最大3セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。
同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

1 お使いになる前に

■SOHO で使用するときに便利な機能

●ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
（機能詳細ガイド）
ポートマッピング（アドバンスドNAT オプション）、DMZ ホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。



●複数のグローバル固定 IP アドレスを付与するサービスを利用する（PPPoE 接続利用時のみ）
（複数固定 IP サービス対応）（機能詳細ガイド）
●会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（機能詳細ガイド）
VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。
※ご利用には設定が必要です。設定方法は機能詳細ガイドを参照してください。

■知っておくと便利な機能　無線 LAN アクセスポイント（親機）

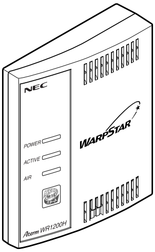
●バージョンアップする（☛P80）
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
●設定を保存する（ 機能詳細ガイド）
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定内容を復元することができます。
●初期化する（☛P84）
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

1-2 箱の中身を確認しよう

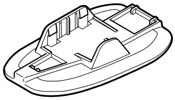
設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

●構成品

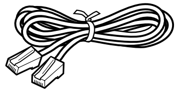
□ WR1200H
無線 LAN アクセスポイント
（親機）



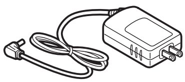
□WR1200H 用
スタンド



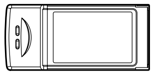
□ETHERNET ケーブル
（ストレート）



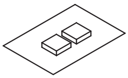
□WR1200H 用
AC アダプタ



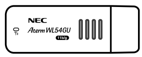
□WL54GC
無線 LAN カード
※ワイヤレスカードセットのみ添付されています。



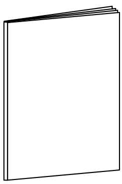
□ラバーシート



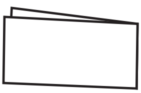
□WL54GU
無線 USB スティック
※USB スティックセットのみ添付されています。



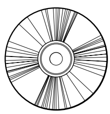
□取扱説明書（本書）



□つなぎかたガイド



□ユーティリティ
CD-ROM

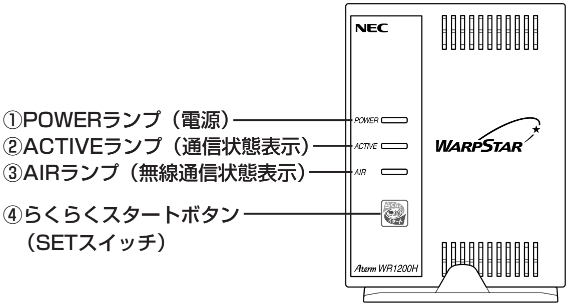


□保証書
（取扱説明書に含む）

1-3 各部の名前とはたらき

WR1200H（無線 LAN アクセスポイント（親機））

●側面図



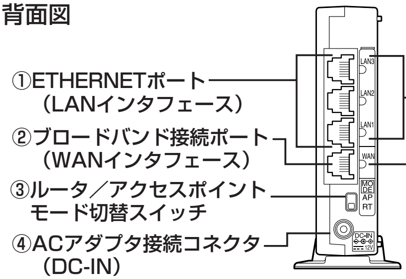
【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
① POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	緑（点滅）／橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」）
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
② ACTIVE ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に PPP 認証が失敗したとき（1 秒間隔）（☛P90）
	緑（速い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に相手から応答がないとき（☛P90）
	橙（点灯）	動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	消灯	動作モードがルータモード（ローカルルータモード）のとき、または PPP 未接続のとき
③ AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑（点灯）	無線 LAN で通信可能なとき
	緑（点滅）	無線 LAN でデータ送受信中のとき

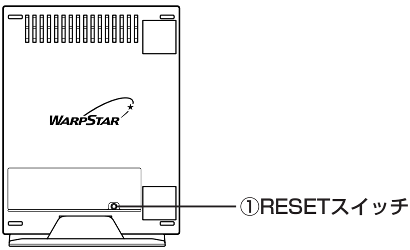
【設定ボタン】

ランプの種類	説　明
④らくらくスタートボタン（SET スイッチ）	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。（☛「つなぎかたガイド」）

●背面図



名　称	説　明		
①ETHERNET ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などとの接続に使用します。		
②ブロードバンド接続ポート（WAN インタフェース）	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。		
③ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ	ルータモード／アクセスポイントモードを切り替えるときに使用します。（☛P71、74）		
④AC アダプタ接続コネクタ（DC-IN）	WR1200H 用 AC アダプタを接続します。		
⑤ETHERNET ポート状態表示 LED	緑	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、リンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などとデータ送受信中
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示 LED	緑	点灯	ブロードバンドモデムが接続され、リンクが確立しているとき
		点滅	ブロードバンドモデムとデータ送受信中



名　称	説　明
① RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P84）

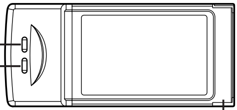
お知らせ

●ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプの ETHERNET ケーブルを自動認識できます。（Auto MDI/MDI-X 対応）

●PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定してください。

WL54GC（無線 LAN カード）

ワイヤレスカードセットにのみ添付されています。



① PC カードコネクタ

　パソコンの PC カードスロットに差し込みます。

② PWR ランプ（電源）／ ACT ランプ（通信表示）

【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54GC（無線 LAN カード） の状態
PWR ランプが青点灯、ACT ランプが青点滅	通信中 （通信量により点滅速度が変化します）
PWR ランプのみ青点灯 （ACT ランプ消灯）	通信待機中 （通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません）
PWR ランプが青点灯、ACT ランプが遅い青点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていません）
PWR ランプ、ACT ランプともに消灯	電源が入っていないとき （無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態）

お願い

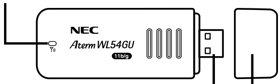
●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

●WL54GC（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。

●WL54GC（無線 LAN カード）は、無線 LAN 端末（子機）専用です。無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。

WL54GU（無線USBスティック）

USBスティックセットにのみ添付されています。



① ACTランプ
　通信可能状態およびデータ通信中に青色で点滅します。
② USBコネクタ
　パソコンのUSBポートに差し込み接続します。
③キャップ
　使用するときは、キャップを外してください。

お願い

●WL54GU（無線USBスティック）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernetポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。

1-4 あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。
本商品の設定に必要な情報（接続ユーザー名／接続パスワード、IP アドレス）を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。
※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「サポートデスク」－「動作検証情報」にある「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」でご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること（☛P34）
・ プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること
・ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
　本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
・クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておいてください。（☛P35）

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに有線で接続する場合〉

・ ETHERNET（イーサーネット）ポート（LAN ポート）を装備していること
　お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
　必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
・ パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P32）

〈WL54GC（無線 LAN カード）から無線で接続する場合〉

・ CardBus（カードバス）準拠の PC カードスロットが装備されていること

〈WL54GU（無線 USB スティック）から無線で接続する場合〉

・ USB ポート（USB2.0 推奨）を装備していること
※ USB ポート 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは Aterm Station（http://121.ware.com/aterm/）をご覧ください。
　WL54GU（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

〈接続可能な機器〉

OSなど	無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポート	WL54GC（無線LANカード）	WL54GU（無線USBスティック）
Windows®	○	○ Windows Vista® および Windows® XP（Service Pack 2）（日本語版）のみ	○ Windows Vista® および Windows® XP（Service Pack 2）（日本語版）のみ
Macintosh	○	×	×
その他OS（Linuxなど）	○	×	×
ゲーム機	○	×	×

※Windows Vista® をご利用の場合
本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ32ビット（x86）版のみに対応しています。
Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

お願い

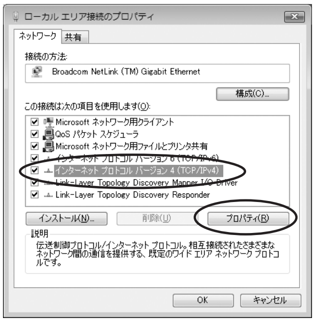
●OSのアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista® の場合

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする
3. ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
5. ［インターネットプロトコル　バージョン４（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



6. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
7. ［OK］をクリックする
8. ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

- Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

Windows® XPをご利用の場合

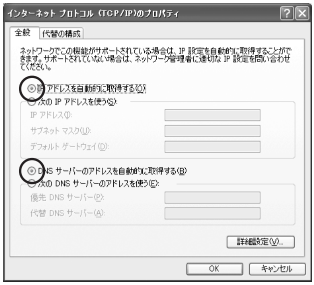
1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

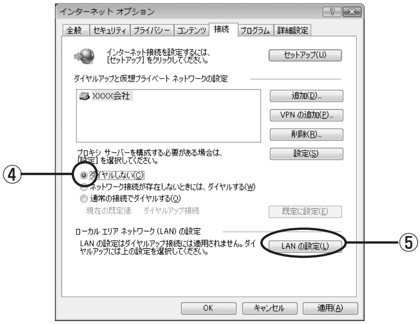
お知らせ

●Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。
●ここでは、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

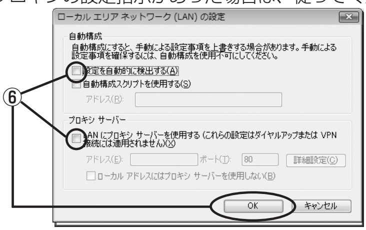
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② ［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③ ［接続］タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。



⑤ ［LAN の設定］をクリックする。
⑥ 「設定を自動的に検出する」と［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



⑦ ［OK］をクリックする。

お知らせ

● プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScriptの設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定Web）で設定を行うにはJavaScriptの設定を有効にする必要があります。

※ WWWブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順でJavaScriptを「有効にする」に設定してください。

Windows® でInternet Explorerをご利用の場合

以下は、Windows Vista® でInternet Explorer 7.0を使用している場合の例です。なお、Windows® XPで設定する場合にも、下記と同様の手順で設定できます。

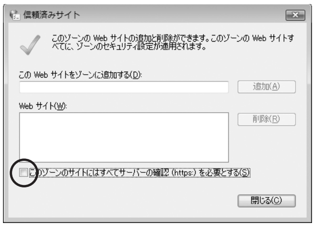
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］－［インターネットオプション］をダブルクリックする

※ Windows® XPの場合は、［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。

2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

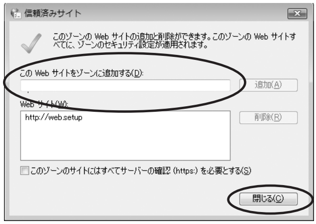


お使いになる前に

（次ページに続く）

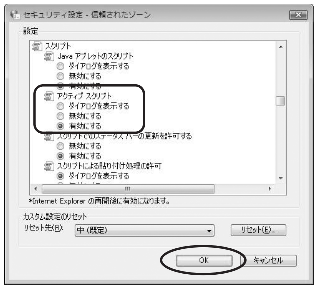
5　**［このWebサイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し、［追加］をクリックして、［閉じる］をクリックする**

※ IPアドレス（工場出荷時は192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IPアドレスを入力します。
（例：「192.168.0.1」）
無線LANアクセスポイントモードに設定した場合やIPアドレスを変更した場合は、設定したIPアドレスを入力してください。



6　**［レベルのカスタマイズ］をクリックし、下向き▼（矢印）をクリックし、画面をスクロールする**

7　**［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする**



8　**［OK］をクリックする**

1-5 設定方法について

**インターネット接続までの設定は「つなぎかたガイド」を参照して行ってください。
無線LANで設定する場合には①らくらく無線スタート→②クイック設定Webの順で設定してください。
無線LANアクセスポイント（親機）のETHERNETポートに接続したパソコンから設定する場合は、クイック設定Webで設定します。**

1 ● 子機を自動で設定する（らくらく無線スタートEXで親機の無線設定を子機に設定する）

無線LAN端末（子機）を接続する場合の設定方法です。
WL54GC/WL54GUのドライバのインストールや無線設定を簡単に行うことができます。

2 ● 親機を設定する（クイック設定Web（WWWブラウザ）で設定する）

WWWブラウザの画面で、無線LANアクセスポイント（親機）のすべての設定が行えます。

※クイック設定Webからの設定では、無線LAN端末（子機）のドライバのインストール、無線設定が行えません。

本商品をご購入後、はじめてクイック設定Webを開くと「らくらくWebウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行うことができます。

※無線LAN端末（子機）から設定を行う場合は、ドライバのインストール（WL54GC/WL54GU）後、らくらく無線スタートEXなどで無線LANアクセスポイント（親機）との通信が確立してからクイック設定Webでの設定を行ってください。

<設定できる WWW ブラウザ>

■ Windows Vista® の場合
Internet Explorer 7.0 に対応

■ Windows®XP の場合
Internet Explorer 7.0 に対応
Internet Explorer 6.0 SP2 に対応
Firefox 2.0.0.0 に対応

■ Mac OS X v10.2 ～ v10.5 の場合
Firefox 2.0.0.12 に対応

〈画面例〉



2-1 無線LANアクセスポイント（親機）を設置する

無線LANアクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

無線LANアクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。実際の接続や設定は「つなぎかたガイド」を参照してください。

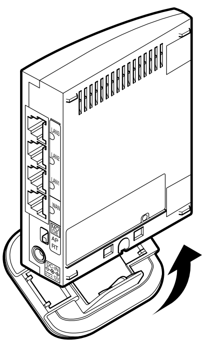
- **無線LANアクセスポイント（親機）はブロードバンドモデム／回線終端装置のそばに置こう**
- **無線LANアクセスポイント（親機）用の電源コンセントはありますか？**
  電源コンセントを確保しましょう。
- **無線LAN端末（子機）は無線LANアクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置こう**
  設定するときは無線LANアクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。

お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）は1m以上離してお使いください。

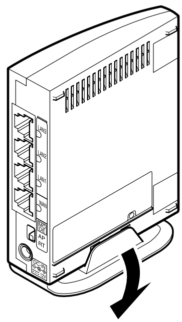
■縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



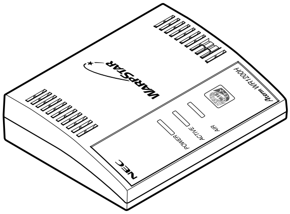
スタンドを外す場合は

図のように、スタンドを矢印の方向にひねるように、取り外してください。



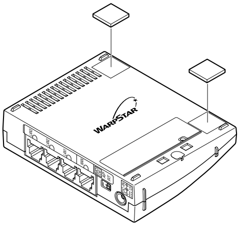
■横置きの場合

図のように設置します。

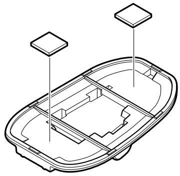


ラバーシートの取り付け

＜横設置の場合＞



＜縦設置の場合＞



●ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。
過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱するおそれがあります。

●ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。

●ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子さまの手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

お願い

●縦置きで設置の際は、両側に20mm（スタンドの幅）以上のスペースを確保してください。

●狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災の原因となることがあります。

●無線LANアクセスポイント（親機）の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

2
設置・接続をする

2-2 無線LAN端末（子機）を接続する

無線LAN端末（子機）の接続と設定は「つなぎかたガイド」を参照して行ってください。

WL54GC（無線LANカード）／WL54GU（無線USBスティック）で無線LAN接続する

WL54GC（無線LANカード）／WL54GU（無線USBスティック）をパソコンに接続するには、①ドライバのインストール→②無線設定（らくらく無線スタートEX）の順で設定を行います。

ドライバのインストール
- Windows Vista® の場合（☛「つなぎかたガイド」）
- Windows® XPの場合（☛P42）

らくらく無線スタートEXでの無線設定
- Windows Vista®/Windows® XPの場合（☛「つなぎかたガイド」）

【WL54GC（無線LANカード）ご使用上の注意】

●WL54GC（無線LANカード）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL54GC（無線LANカード）を差し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

●他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、WL54GC（無線LANカード）のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線LANカードやLANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。（☛P45、46）

●無線LAN内蔵パソコンにWL54GC（無線LANカード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。

●あとからWL54GC（無線LANカード）を追加で購入した場合は、本商品に添付のCD-ROMを使用してください。

●WL54GC（無線LANカード）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

【WL54GU（無線USBスティック）ご使用上の注意】

●USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation（http://121ware.com/aterm/）をご覧ください。WL54GU（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

●WL54GU（無線USBスティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、サスペンド機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL54GU（無線USBスティック）を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめサスペンド機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。

●他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、WL54GU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールできないことがあります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。（☛P45、46）

●無線LAN内蔵パソコンにWL54GU（無線USBスティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの［デバイスマネージャ］の［ネットワークアダプタ］にある内蔵無線アダプタを［無効］に設定してからご使用ください。

●WL54GU（無線USBスティック）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

●WL54GU（無線USBスティック）のUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。

●USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

●WL54GU（無線USBスティック）のUSBコネクタを無理に折り曲げたり、無理に回転させたりしないでください。

●隣り合うUSBポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合があります。また、USBインタフェースにWL54GU（無線USBスティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。

●WL54GU（無線USBスティック）とWL54GCなどの無線LANカードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。

ドライバのインストール（Windows® XP の場合）

ここでは、WL54GC を例に説明します。WL54GU の場合も手順は同様です。

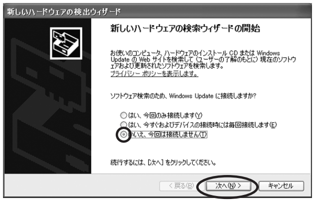
1 Windows® XP を起動する

2 添付のユーティリティ CD-ROM をセットする

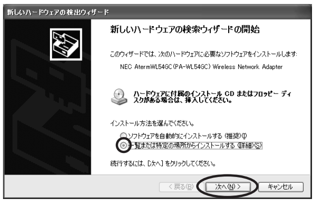
しばらくすると「メニュー画面」が表示されるので、画面を閉じてから手順３に進みます。また、「メニュー画面」が表示されない場合も、手順３に進みます。

3 パソコンに WL54GC を取り付ける

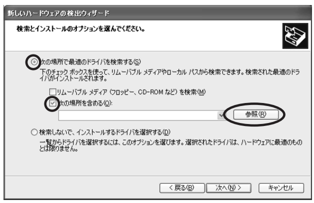
4 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で［ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？］の画面が表示された場合は、［いいえ、今回は接続しません］を選択し、［次へ］をクリックする



5 ［インストール方法を選んでください。］の画面が表示された場合には、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックする

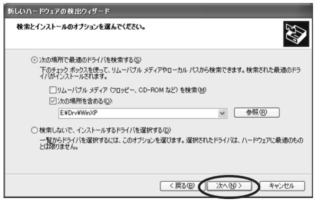


6 ［次の場所で最適のドライバを検索する］と［次の場所を含める］にチェックし、［参照］をクリックする



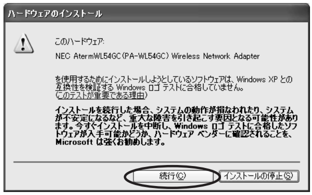
7 CD-ROMドライブから［Drv］－［WinXP］を選択し、［OK］をクリックする

8 ［次へ］をクリックする



(この画面は、CD-ROMドライブ名がEの場合です)

9 次の画面が表示されたときは［続行］をクリックする



10 インストールが完了したら、［完了］をクリックする

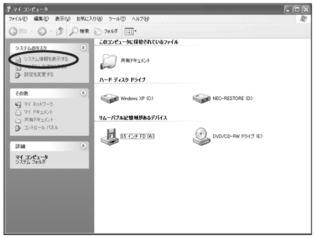


11 CD-ROMを取り出す

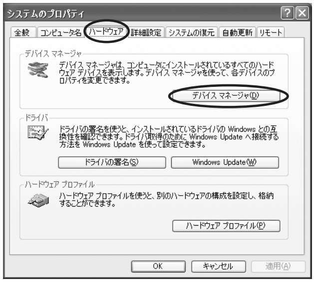
（次ページに続く）

12 WL54GC ドライバのインストールを確認する

①［スタート］－［マイコンピュータ］－［システム情報を表示する］をクリックする

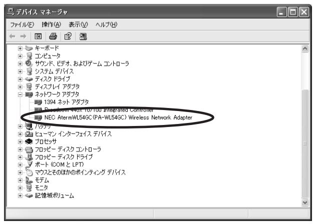


②［ハードウェア］タブをクリックする
③［デバイスマネージャ］をクリックする



※画面は、Windows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows® のアップデート状況によって［デバイスマネージャ］ボタンの場所が異なります。

④［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤［NEC AtermWL54GC（PA-WL54GC) Wireless Network Adapter］が表示されていることを確認する



こんなときは

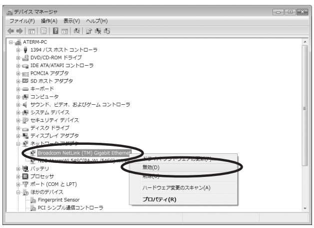
手順 12 で［NEC AtermWL54GC（PA-WL54GC) Wireless Network Adapter］または［NEC Aterm WL54GU (PA-WL54GU) Wireless Network Adapter］の頭に黄色い(!)が表示されたときは、正しくインストールされていません。いったんアンインストールしてから（☛P48、49）、インストールをやり直してください。
手順 12 で他のネットワークアダプタが有効になっていると正しく動作しない場合があります。
［NEC AtermWL54GC（PA-WL54GC) Wireless Network Adapter］または［NEC Aterm WL54GU (PA-WL54GU) Wireless Network Adapter］以外のネットワークアダプタは、［操作］－［プロパティ］をクリックして［全般］タブの［デバイスの使用状況］で［このデバイスを使わない（無効)］をチェックして無効にしてください。

? 他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させるには

他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインタフェースを搭載したノートパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、無線LAN端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で他の無線LANカードやLANカードまたはLANボード機能を停止させてから、らくらく無線スタートEXで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

〈Windows Vista® の場合〉

① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システムとメンテナンス］－［システム］をクリックする
③ ［タスク］欄の［デバイスマネージャ］をクリックする
④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤ ［ネットワーク アダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、［無効］を選択する



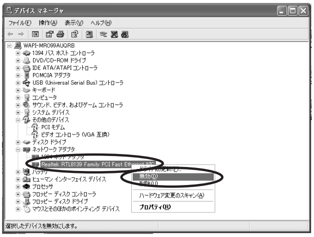
⑦ ［はい］をクリックする

2 設置・接続をする

？他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows ® XP の場合〉

① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
③ [システム] アイコンをダブルクリックする
④ [ハードウェア] タブをクリックする
⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする
⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



⑧ [はい] をクリックする

ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista®/ Windows® XPの場合）

Windows Vista®およびWindows® XPの場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で無線設定を行うことができます。
「ワイヤレスネットワークの設定」は、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit)」、「TKIP※1」、「AES※1」の場合に、ご利用いただけます。なお、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が設定されている場合は、ご利用いただけません。

※1：TKIP、AESは、Windows Vista®またはWindows® XP（Service Pack 2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

- ●Windows Vista®をご利用の場合→P51手順2以降の手順に従って設定してください。
- ●Windows® XPをご利用の場合→P56手順2以降の手順に従って設定してください。

ドライバをアンインストール（削除）するには

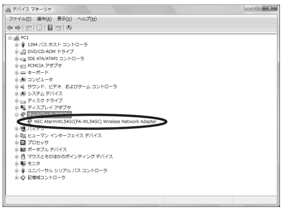
WL54GCまたはWL54GUのドライバを正常にインストールできなかった場合やパソコンをWL54GCまたはWL54GUのドライバをインストール前の状態に戻したい場合は、WL54GCまたはWL54GUのドライバをアンインストールします。

※ドライバをアンインストール（削除）する場合は、必ずWL54GCまたはWL54GUを装着した状態で行ってください。
ドライバのアンインストール（削除）が終了したあと、WL54GCまたはWL54GUを取り外してください。

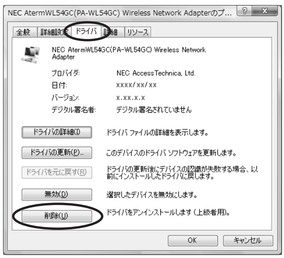
■ Windows Vista® の場合

次の手順でドライバを削除します。

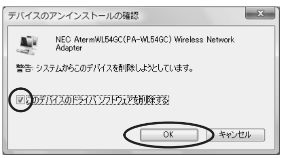
①［スタート］（Windows®のロゴボタン）－［コントロールパネル］をクリックする
②［システムとメンテナンス］－［システム］をダブルクリックする
③ タスク欄の［デバイスマネージャ］をクリックする
④ ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
⑤［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥［NEC Aterm WL54GC (PA-WL54GC) Wireless Network Adapter］または［NEC Aterm WL54GU (PA-WL54GU) Wireless Network Adapter］をダブルクリックする



⑦［ドライバ］タブをクリックし、［削除］をクリックする



⑧［このデバイスのドライバソフトウェアを削除する］にチェックを入れ［OK］をクリックする



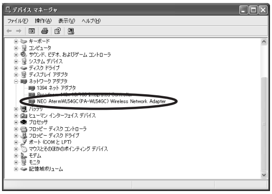
ドライバをアンインストール（削除）するには

※ドライバをアンインストール（削除）する場合は、必ず WL54GC または WL54GU を装着した状態で行ってください。
ドライバのアンインストール（削除）が終了したあと、WL54GC または WL54GU を取り外してください。

■ Windows® XP の場合

次の手順でドライバを削除します。

① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］をダブルクリックする
③ ［ハードウェアタブ］をクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［NEC Aterm WL54GC (PA-WL54GC) Wireless Network Adapter］または［NEC Aterm WL54GU (PA-WL54GU) Wireless Network Adapter］をダブルクリックする



⑥ ［ドライバ］タブをクリックし、［削除］をクリックする



2-3 無線LAN内蔵パソコンから接続する

無線LAN内蔵のパソコンから無線LANアクセスポイント（親機）に無線で接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できるNEC製ワイヤレス機器についてはホームページAtermStation（「動作検証情報」－「無線LAN製品接続確認情報」）にて公開しています。

・お使いになる無線LAN内蔵パソコンがWindows Vista® またはWindows® XP（Service Pack 2以降）の場合、らくらく無線スタートEXで無線LANアクセスポイント（親機）との無線接続の設定を簡単に行うことができます。（☛「つなぎかたガイド」）

・お使いになる無線LAN内蔵パソコンがWindows® XP（Service Pack 1以前）の場合は「ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista®/Windows® XPの場合）」（☛P51）を参照してください。

・無線LAN内蔵パソコン側に、ネットワーク名（SSID）および暗号化方式（WEP：128bit）、暗号化キーの設定が必要です。

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンやOSによって異なります。（Windows® XPの場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。）設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。

●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線LANアクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定Webで変更します。
・暗号化キー（128bit WEP）の出荷時の設定値は本体側面のラベルを参照してください。

●Super G対応の無線LAN内蔵パソコンをご利用の場合はSuper G機能を利用した高速な無線LAN通信がご利用になれます。対応機器についてはホームページAtermStationにてご確認ください。

●2005年5月以降のNEC製の個人向けパソコン（LaVie）では、あらかじめらくらく無線スタートEXが収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、「無線LAN内蔵パソコンをご利用の場合」の「らくらく無線スタートEXで無線設定をする」（☛「つなぎかたガイド」）へ進んでください。

ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista®/Windows® XPの場合）

Windows Vista® または Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を使って無線LAN 内蔵パソコンと無線LAN アクセスポイント（親機）との無線通信の設定を行う場合は次の手順で行います。
ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。無線LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。
Windows Vista® をご利用の場合（☛ 下記）
Windows® XP をご利用の場合（☛P56）
※ Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2 以降）のパソコンをご使用の場合は、らくらく無線スタートEX で設定することができます。（☛「つなぎかたガイド」）

Windows Vista® の場合

以下の設定は Windows Vista® のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AES をご利用になる場合の説明です。
なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。（無線 LAN アクセスポイント（親機）は出荷時に暗号化設定がされています。変更方法は機能詳細ガイドを参照してください。）

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する

・点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
・それぞれのワイヤレススイッチの ON ／ OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

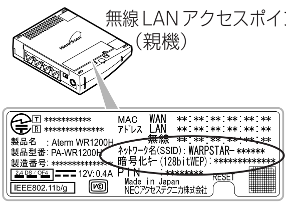
2 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする

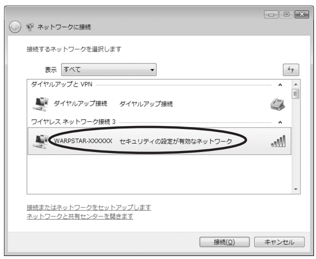
※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。

無線 LAN アクセスポイント（親機）





※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして、手順 7 へ進みます。

（次ページに続く）

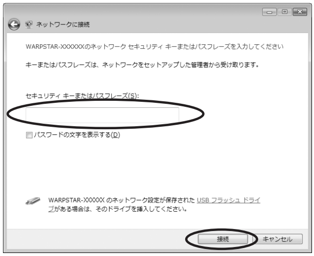
4　［接続］をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、手順５に進みます。暗号化設定がされていない場合は、［接続します］をクリックして手順 14 に進みます。

※接続に失敗した場合は、
　下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
　①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
　② 接続するネットワーク名（SSID)を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
　③［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる
　上記の手順が完了したら、手順２から接続し直してください。

5　無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合（工場出荷時は 1 番）、［セキュリティキーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックして、手順 14 に進む

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P51）



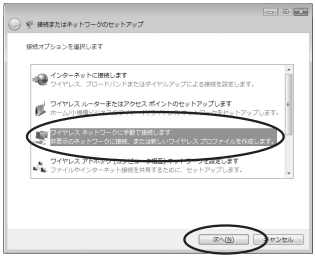
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の２番～４番を使っている場合は、［キャンセル］をクリックして、手順６に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も［キャンセル］をクリックして、手順６に進みます。

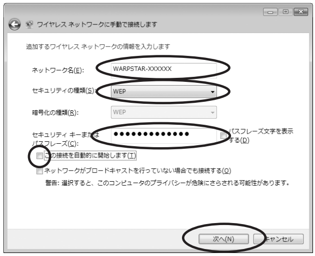
6　［ネットワークと共有センター］－［接続またはネットワークをセットアップ］をクリックする



7 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする



8 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P51）

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
　ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
　・ASCII 文字の場合：
　　英数字５文字：
　　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　　英数字 13 文字：
　　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
　・16 進数の場合：
　　０～９・Ａ～Ｆで 10 文字：
　　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
　　０～９・Ａ～Ｆで 26 文字：
　　無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤[次へ]をクリックする

2 設置・接続をする

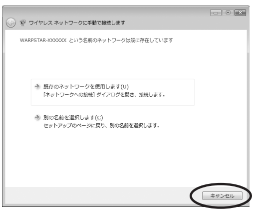
（次ページに続く）

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉
①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する
②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
③[ネットワークセキュリティキー]を入力する
　8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します
　※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
　　・8～63 桁の場合
　　　英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

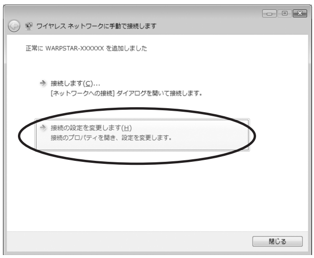
!	%	)	-	;	?	]	{
”	&	＊	.	<	@	^	|
#	’	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

　　　※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。
　　・64 桁の場合
　　　16 進数【0～9、a～f、A～F】
　　暗号化キーは半角で入力します。
④[OK]をクリックする

9 [接続の設定を変更します] をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、手順 4 の「※」を参照してください。(☛P52)



10 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。

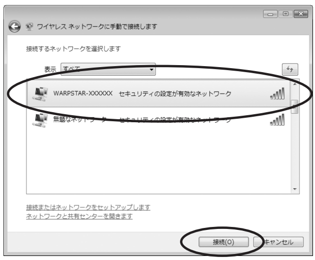


※画面は暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

11 ［OK］をクリックする

12 ［接続します］をクリックする

13 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする



14 ［閉じる］をクリックする



Windows® XPの場合

以下の設定はWindows® XPのワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP※1/TKIP※2/AES※2をご利用になる場合の説明です。
なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線LANアクセスポイント（親機）側を先に設定してください。（無線LANアクセスポイント（親機）は出荷時に暗号化設定がされています。変更方法は機能詳細ガイドを参照してください。）

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
※2：TKIP、AESは、Windows® XP（Service Pack2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する

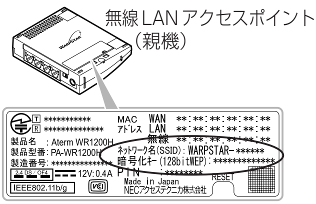
・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
・それぞれのワイヤレススイッチのON／OFFのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

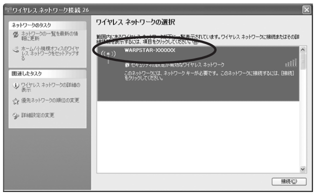
2 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3 接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択する

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載されています。





※画面はWindows® XP（Service Pack 2）の場合の例です。Windows®のアップデート状況により画面が異なります。

※[利用できるネットワーク]に使用する無線LANアクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を設定している場合があります。ESS-IDステルス機能を解除してください。



※画面はWindows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

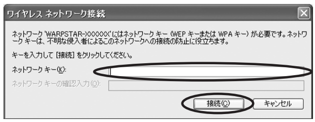
お願い

●[このネットワークでIEEE802.1xを有効にする]の☑は必ず外してください。

4 Windows® XP（Service Pack 2）の場合は［接続］をクリックする

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、そのまま手順5へ進みます。
無線LANアクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は手順5に進みます。
暗号化設定がされていない場合は、[接続]をクリックして設定は完了です。

5 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が1番の場合、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする

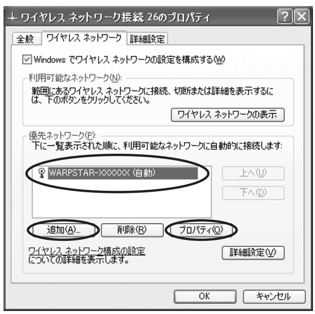


※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は[キャンセル]をクリックし、手順6に進みます。

6 ［詳細設定の変更］をクリックする

Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は、[詳細設定]をクリックします。

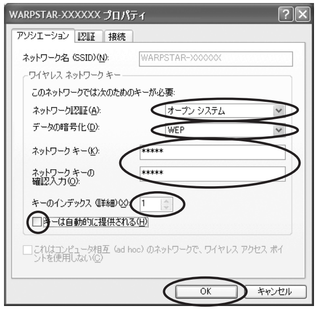
7 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする



接続する無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）が[優先ネットワーク]（Windows® XP（Service Pack 2）適用前の場合は[優先するネットワーク]）欄に表示されていない場合は、[追加]をクリックします。

（次ページに続く）

8　表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。(☛P56)

■ Windows® XP（Service Pack 2）の場合

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 32 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
⑤無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
⑥[OK]をクリックする

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する

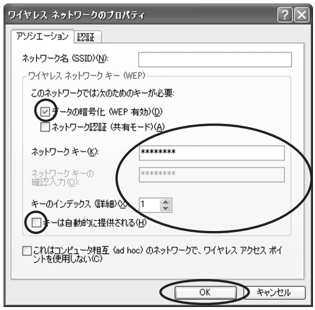
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
・8～63 桁の場合
英数記号
【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>?</td><td>]</td><td>{</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>\</td><td>`</td><td>˜</td></tr>
</table>

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。
・64 桁の場合
16 進数【0～9、a～f、A～F】
暗号化キーは半角で入力します。
④[OK]をクリックする

■ **Windows® XP(Service Pack 1)の場合**

①[データの暗号化]にチェックする
(画面に[ネットワークアソシエーション]・[データの暗号化]の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する)
②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 152bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 128bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 32 文字：
無線 LAN アクセスポイント(親機)に 152bitWEP を設定している場合
④無線 LAN アクセスポイント(親機)の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
⑤[OK]をクリックする



※画面は Windows® XP(Service Pack 1)の場合の例です。

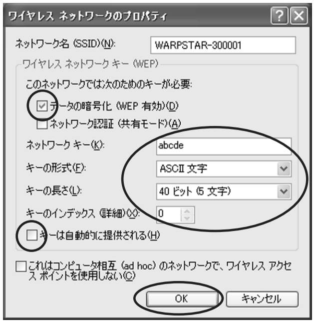
(次ページに続く)

■ Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合

①［データの暗号化］にチェックする

②［キーは自動的に提供される］のチェックを外す

③［ネットワークキー］は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する



キーの形式：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bit を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が 0 ～ 3 と表示されますので、1 ～ 4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）側は、クイック設定 Web の［無線 LAN 側設定］－［暗号化（WEP）］で使用する暗号化キーを確認してください。

④［OK］をクリックする

2-4 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）側面に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。



●ゲーム機側に、ネットワーク名（SSID）および暗号化方式（WEP:128bit)、暗号化キーの設定が必要です。

●らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、ホームページ AtermStation をご確認ください。

<無線接続できるゲーム機>

・ Wii ®
・ニンテンドー DS ®
・ PLAYSTATION ® 3
・ PSP ®「プレイステーション・ポータブル」

3-1 クイック設定Webの使い方

無線LANアクセスポイント（親機）の場合

クイック設定Webで設定を行うには、あらかじめ無線LANアクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線LAN端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線LANアクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

クイック設定Webを利用するための準備

無線LANアクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IPアドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■Windows Vista®およびWindows® XPの場合

① ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［（すべての）プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする

② “ipconfig /renew”を入力して［Enter］キーを押す

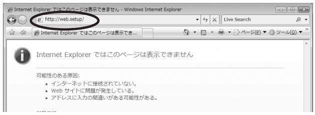
③ IPアドレス（IP Address またはIPv4アドレス）が“192.168.0.XXX”になることを確認する

クイック設定Webの起動のしかた

クイック設定Webで設定を行う場合は、次の手順で起動します。
設定方法については、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定Webの使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

②WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定Webのページを開く

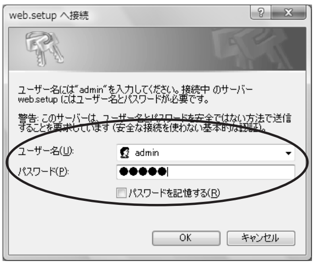


無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は192.168.0.1です。）例：http://192.168.0.1/
無線LANアクセスポイントモードに設定した場合は、「無線LANアクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P73）を参照してください。

③ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには「つなぎかたガイド」で設定した管理者パスワードを入力してください。
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

※パスワード入力画面が表示されないときには、「WWWブラウザで無線LANアクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない」（☛P89）を参照してください。



④［OK］をクリックする

お知らせ

- クイック設定Web、らくらくWebウィザードが利用できるWWWブラウザについては、「設定方法について」（☛P37）を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWWWブラウザやお使いのOSによって異なります。
- クイック設定Webの画面のデザインは変更になることがあります。
- PPPoEの外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらくWebウィザードまたはクイック設定Webで設定をしてください。

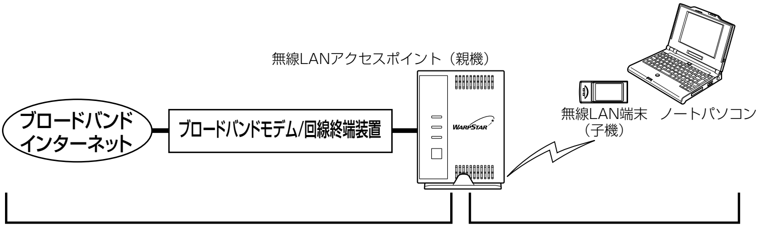
お願い

- クイック設定Webの設定は、［登録］をクリックして無線LANアクセスポイント（親機）を再起動してからでないと有効になりません。

3-2 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL ／ CATV ／ FTTH 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
設定方法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。



WAN側セキュリティ機能
- IPパケット
  フィルタリング
- アドバンスドNAT
  (IPマスカレード／NAPT)
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポート
  コントロール機能

― 機能詳細ガイド

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能
- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能
  （SSIDの隠蔽）

※WR1200H（親機）は、初期化するとWEP128bit の暗号化が設定されます。設定内容（初期値）は、本体側面の設定ラベルを参照してください。

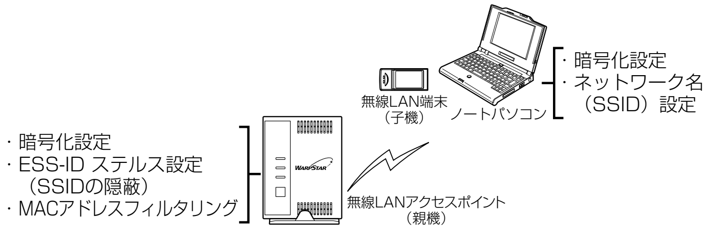
セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行っていただくことをお勧めします。

● 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

他の無線LANパソコンから無線LANアクセスポイント（親機）に接続できないようにする

本商品は、他の無線LANパソコンから無線LANアクセスポイント（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）、MACアドレスフィルタリング機能を搭載しています。無線LAN端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線LAN端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。
設定方法については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。



無線暗号化

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

- **WEP（Wired Equivalent Privacy）**
  IEEE802.11で定められた暗号化方式。
- **TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）**
  Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
  パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。
- **AES（Advanced Encryption Standard）**
  米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
  WEPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で同じ設定にしてください。
- 暗号化キーは無線アクセスポイント（親機）1つにつき1つだけ使用します。複数の無線LAN端末（子機）を使用する場合、すべての無線LAN端末（子機）に無線LANアクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを設定してください。
- WR1200H（親機）を初期化した場合は、WEP128bit（キーインデックス：1番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キー（WEPキー）の内容（初期値）は、本体側面の設定ラベルを参照してください。
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、AES、TKIPの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末（子機）が必要です。

3 本商品を使いこなす

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名（SSID）名は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

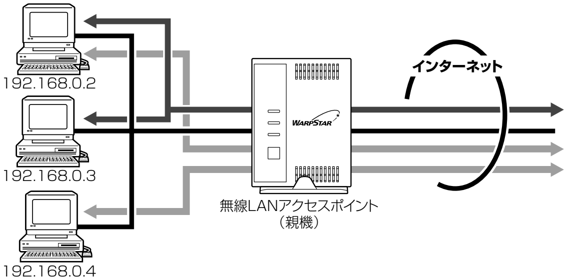
MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

3-3 便利な機能

複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。
接続先の登録数は最大 5 箇所、同時接続可能セッション数は最大 3 箇所です。
本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。



接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1 箇所とその他の接続先として 4 箇所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。）
また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。
LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。
「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。
設定方法については機能詳細ガイドを参照してください。

お知らせ

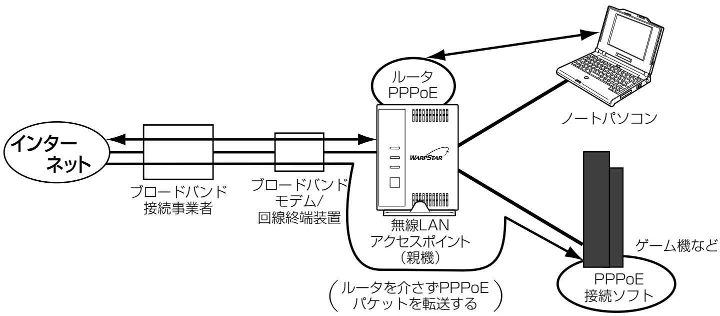
－制限事項－

● PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、 UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。
UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。
※本商品の初期状態では、［接続設定 1］が UPnP 機能の優先接続先になっています。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE（PPP over Ethernet）プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションでご利用いただけます。（☛P67）



■ PPPoE ブリッジ機能でできること

（1）次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

● Windows® XP の場合
リモート デスクトップ
リモート アシスタンス

● Windows Vista® の場合
リモート デスクトップ
Windows リモート アシスタンス
Windows ミーティングスペース

（2）PPPoE 対応のゲーム機（PlayStation®2 など）を接続できます。

（3）PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているブロードバンドモデム／回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

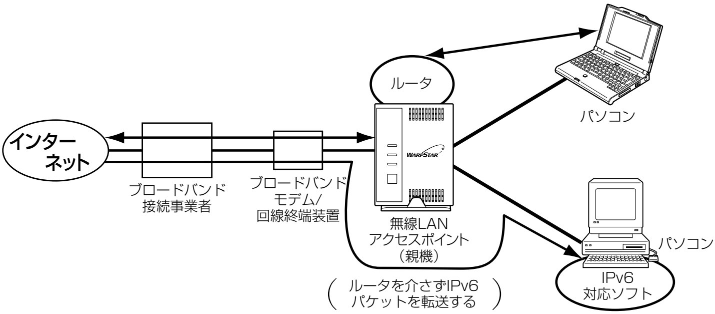
お願い

●アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

●「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

IPv6 ブリッジ機能

IPv6（Internet Protocol Version 6）プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 ブリッジ機能を使用して、IPv6 による通信を行うことができます。
有線側、無線側それぞれについて、ブリッジ機能の使用可否を設定することが可能です。
本商品とパソコン側の設定が必要です。本商品の設定方法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることで、利用できます。



お知らせ

● ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。セットトップボックスは本商品に接続し、有線 LAN 接続でご利用ください。

お願い

● パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
● 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

DMZ ホスティング

外部からのアクセスを LAN 上のあらかじめ指定したパソコンに自動的にすべて転送する機能です。
Web ／ FTP サーバの外部公開や LAN 上へファイアウォールを設定することができます。
（☛ 機能詳細ガイド）

VPN パススルー

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network ：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
（☛Ⓦ 機能詳細ガイド）

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
（☛Ⓦ 機能詳細ガイド）

UPnP 機能

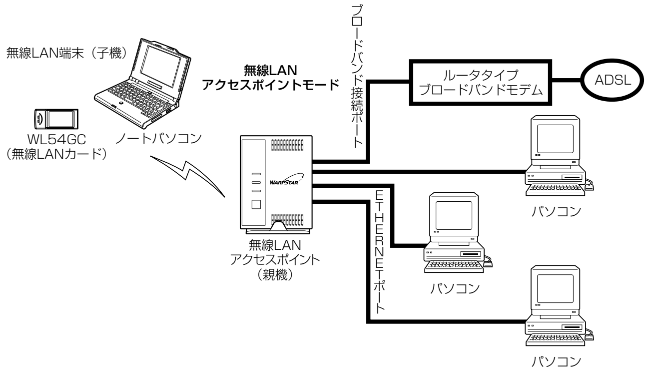
本商品とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger、MSN Messenger の機能をご利用になることができます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

お知らせ

- UPnP 機能は、Windows Vista®、Windows® XP のパソコンでのみご利用になれます。
- フレッツ・ ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにルータモード（ローカルルータモード）で接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて本商品を PPPoE モードに設定するか、本商品を無線 LAN アクセスポイントモードに設定してお使いください。

3-4 無線LANアクセスポイントとして使う(ルータ機能を停止する)

本商品では、無線LANアクセスポイントモードを利用して、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモデムや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。
本モード設定によりルータ機能が停止し、ハブおよび無線LANアクセスポイントとして動作します。



お知らせ

●ルータタイプのブロードバンドモデムと接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線LANアクセスポイントモードをご利用ください。
・本商品の持つルータ機能を使用しないとき
・ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出すことができないとき

●ルータモード（ローカルルータモード）と無線LANアクセスポイントモードでは次のような違いがあります。
ルータタイプのブロードバンドモデムをお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

<ルータモード（ローカルルータモード）と無線LANアクセスポイントモードの使い分け>

	お勧めの環境	制限事項など
ルータモード（ローカルルータモード）	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムと設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
無線LANアクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	無線LANアクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムのルータ機能をご利用いただけます。

無線 LAN アクセスポイントモード設定

無線 LAN アクセスポイントモードの設定は、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチか、らくらく Web ウィザードで行います。

●ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する場合

→無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値を工場出荷時状態のまま変更せずにご利用になる場合は、この設定方法をお勧めします。
設定の際は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値が、いったん初期化されます。初期化を行うと、本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

●らくらく Web ウィザードで設定する場合

→無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定値を変更する予定がある場合は、この設定方法をお勧めします。

設定手順は下記の通りです。

ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する場合	らくらく Web ウィザードで設定する場合
↓	↓

ブロードバンドモデムを接続している場合はいったん接続を外す

↓	↓
ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する（☛P74）	らくらく Web ウィザードで設定する（☛「つなぎかたガイド」） ※らくらく Web ウィザードの「動作モード」の「ルータ機能」で「使用しない（アクセスポイントモード）」を選択します。
↓	↓

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する（☛P75）

↓

無線の設定を変更する場合、クイック設定 Web の「詳細設定」－「無線 LAN 側設定」でネットワーク名（SSID）、暗号化などを変更する

無線 LAN アクセスポイントモードに設定(ルータ機能を停止)した場合のご注意

●無線 LAN アクセスポイントモードで、「らくらく無線スタート EX」を行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。

●無線 LAN アクセスポイントモードで、クイック設定 Web を開く場合は、「http://web.setup/」およびデスクトップの［クイック設定 Web］アイコンから開くことはできません。

→無線 LAN アクセスポイントモードでのクイック設定 Web の開き方は下記の通りです。
（無線 LAN アクセスポイントモードの設定方法によって開き方が異なりますのでご注意ください。）

<ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合>

パソコンの IP アドレスを「192.168.0.XXX」（XXX は 2 ～ 199,211 ～ 254 で同一ネットワーク内で使用していない IP アドレス）に固定に設定したあと、WWW ブラウザのアドレスに、「http://192.168.0.210/」と入力して開きます。

<らくらく Web ウィザードで無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合>

WWW ブラウザのアドレスに、らくらく Web ウィザードでの設定で指定した IP アドレスを入力して開きます。（例： http://192.168.0.210/）

※ブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器を接続していないときは、パソコンの IP アドレスを、らくらく Web ウィザードでの設定で指定した IP アドレスと同じネットワーク体系に固定に設定してから、この方法で開きます。

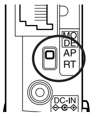
ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチで設定する

無線LANアクセスポイント（親機）のルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを使って設定します。無線LANアクセスポイント（親機）の設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

●本商品の無線設定を変更（SSIDや暗号化の設定を変更）したあとに、この方法で切り替えると、切り替え前に接続できていた無線LAN端末（子機）から接続できなくなります。
→無線設定が工場出荷時の状態に戻っていますので、再度、本商品と無線LAN端末（子機）との無線設定を行ってください。（☛ 機能詳細ガイド）

1 無線LANアクセスポイント（親機）の電源を切る

2 ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをアクセスポイント（AP側）に切り替える



3 無線LANアクセスポイント（親機）の電源を入れる

POWERランプが緑点灯し、ACTIVEランプが橙点灯すると、設定が完了します。

お知らせ

●この方法で設定したあとに、ルータモード（ローカルルータモード）に変更する（ルータ機能を使用する）場合は、必ずルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータ（RT）側に切り替えたあとで無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P84）、クイック設定Web（らくらくWebウィザード）で本商品の設定をはじめから行ってください。（☛「つなぎかたガイド」）

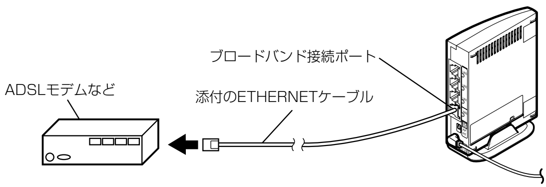
「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」（☛P75）に進みます。

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

必要があれば、無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1　無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



2　ADSL モデムなどの電源を入れる

ブリッジタイプの場合、必ず電源をいったん切っておいてください。

3　無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。

お知らせ

- らくらく Web ウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定 Web の「詳細設定」－「無線 LAN 側設定」でネットワーク名（SSID）、暗号化などを変更します。
  ※クイック設定 Web を開く場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P73）を参照してください。
- ブロードバンドモデムをパソコンや他のブロードバンドモデムに接続していた場合は、いったんブロードバンドモデムの電源を切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直さないと、正常に動作しない場合があります。

3-5 他の無線LAN端末（子機）から接続する

無線LANアクセスポイント（親機）へ他の無線LAN端末（子機）から接続する場合は、次の手順で設定を行ってください。

Atermシリーズの無線LAN端末（子機）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）の場合は、P78へ進んでください。
※1～※5についてはP79を参照してください。

WL54GU/WL54GC/WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/WL54TE

↓

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

らくらく無線スタートで設定してください。

WL54GU/WL54GCの場合

本商品に添付のつなぎかたガイドまたは無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書およびCD-ROMを使用して、らくらく無線スタートEXで設定してください。

WL54SC2/WL54SU2の場合

無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書およびCD-ROMを使用して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL300NC/WL54SU/WL54TUの場合

無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書およびCD-ROMを使用して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SE2の場合

無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書を参照して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SE/WL54TEの場合

無線LAN端末（子機）に添付の取扱説明書を参照して、らくらく無線スタートで設定してください。

※らくらくWebウィザードでの設定は1台目のパソコンからの設定が無線LANアクセスポイント（親機）に書き込まれていますので設定の必要はありません。

↓

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

！
下記の無線LAN端末（子機）では、設定の際に現在無線LAN端末（子機）側で使用している設定ツール（サテライトマネージャなど）とドライバが必要です。アンインストール（削除）はしないでください。いったん削除してしまった場合は、ホームページAtermStationにて最新版をダウンロードし、インストールすることができます。

WL11C2

WL11CA/WL11CB

WL11C/WL11U/WL11U(W)

WL11E2

無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を行います。

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）のMACアドレスを登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P66）（※1）（※2）

クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を64bitWEPに変更します。

クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを16進に変更します。

無線LAN端末(子機)を使用するパソコンのOSを確認します。(※3)

Windows® XP以外のOSの場合（Windows Vista®は除く）

Windows® XPの場合

無線LAN端末（子機）側のCD-ROMからドライバとユーティリティ（サテライトマネージャ）を インストールし、無線LAN端末（子機）側のユーティリティ（サテライトマネージャ）で設定してください。(※5)

Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で設定してください。（※5）

無線LAN端末（子機）のクイック設定Webで設定してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID)、暗号化の設定を行ってください。
（※4）

3
本商品を使いこなす

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）

無線LAN端末（子機）側に添付の専用ドライバとユーティリティをインストールしてください。

無線LAN内蔵パソコン

無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を行います。

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）の情報を登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☛P66）（※1）

無線LAN端末（子機）が、無線LANアクセスポイント（親機）と同じ無線動作モード、暗号化モードをサポートしていない場合は、クイック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の初期値

- 無線動作モード：2.4GHzモード
- 暗号化モード　：128bitWEP
- 暗号化キー　　：13桁英数

無線LAN端末（子機）を使用するパソコンのOSを確認します。

- Windows Vista® およびWindows® XP（Service Pack 2以降）の場合
- 左記以外のOSの場合

設定方法を確認し、無線LAN端末（子機）側の設定を行います。

- 無線LANアクセスポイント（親機）に添付のCD-ROMを使用してらくらく無線スタートEXで設定してください。
- Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定または、無線LAN端末(子機)側に添付の専用ユーティリティで設定してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の設定にあわせてネットワーク名（SSID）、暗号化の設定を行ってください。（※4）

無線LAN端末（子機）からのインターネット接続を確認する

※1　すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。

※2　WL54SE2（イーサネットコンバータ）/WL54SE/WL54TE（ETHERNETボックス）、WL11E2（ETHERNETボックス）の場合はWL54SE2（イーサネットコンバータ）/WL54SE/WL54TE（ETHERNETボックス）、WL11E2（ETHERNETボックス）に接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスも登録してください。

※3　使用できるOSは接続する無線LAN端末（子機）によって異なります。

※4　無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）名は無線LANアクセスポイント（親機）の側面に貼ってある無線LAN設定ラベルに記載されています。

※5　Windows Vista® またはWindows® XP（Service Pack 2以降）のパソコンでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）に添付のCD-ROMを使用して、らくらく無線スタートEXで設定することもできます。

お知らせ

●無線LANアクセスポイント（親機）に接続できる無線LAN端末（子機）は「7-1　別売りオプション」（☛P104）やホームページAtermStation（「動作検証情報」ー「無線LAN製品接続確認情報」）で確認してください。

4-1 ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR1200H（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR1200H（親機）の操作を改善します。
［用語］ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

ホームページ AtermStation からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

お願い

- ●ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分 30 秒間）は絶対に WR1200H（親機）の電源を切らないでください。
- ●ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- ●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- ●バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows Vista® および Windows® XP の場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ファームウェアをバージョンアップする

●ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページ AtermStation に新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のトップ画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。
このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。
※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

（注）本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。
また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。



本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、ホームページ AtermStation をご覧ください。

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。

※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

1 クイック設定 Web を起動する

2 ユーザー名に［admin］と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする

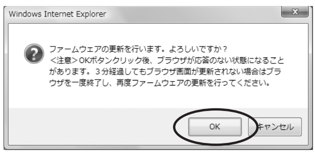
3 「メンテナンス」の ▼ をクリックし、「ファームウェア更新」を選択する

4 ［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する



5 [更新]をクリックする

6 [OK]をクリックする



7 次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ



（次ページに続く）

4 本商品のメンテナンス

8　次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする

［現在のバージョン］と［最新のバージョン］が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定Webを閉じます。

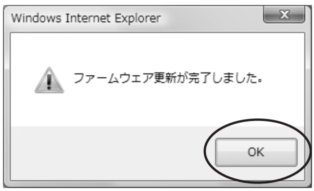


9　しばらくすると、クイック設定Web画面に「ファームウェア更新中です。1分30秒ほどお待ちください」と表示される

●バージョンアップには時間がかかる場合もありますが、バージョンアップの途中で電源を切らないでください。



10　[OK]をクリックする



■ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページ AtermStation から、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。
ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

1. AtermStation（http:// 121ware.com/aterm/）にアクセスする

2. 「ダウンロード」－「バージョンアップ」にて、お使いの機種を選択する

3. 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4. ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5. ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

   インストールが始まります。
   詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

4-2 初期化

無線LANアクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線LANアクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線LANアクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定Webで初期化する（☛下記）
RESETスイッチで初期化する（☛P85）

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線LANアクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

クイック設定Webで初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWWブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定Webのページを開く

無線LANアクセスポイント（親機）のIPアドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は192.168.0.1です。）
例： http://192.168.0.1/
※無線LANアクセスポイントモードに設定している場合は、「⚠無線LANアクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P73）を参照してください。

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の ▼ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する

5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする



6 [OK] をクリックする

無線LANアクセスポイント（親機）が再起動します。

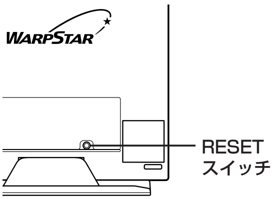
RESETスイッチで初期化する

無線LANアクセスポイント（親機）のRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、側面にあります。

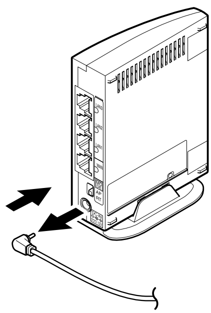
1 **無線LANアクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する**

2 **無線LANアクセスポイント（親機）の側面にあるRESETスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す**

POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。



3 **無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む**



お願い

- 無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線LANアクセスポイント（親機）の側面に記載）に戻してください。

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☛P84）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（機能詳細ガイド）

- ・設置に関するトラブル（☛ 下記）
- ・ユーティリティに関するトラブル（☛P95）
- ・無線接続に関するトラブル（☛P97）
- ・ご利用開始後のトラブル（☛P99）

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線LANアクセスポイント（親機）側面のPOWERランプは点灯していますか？ →いいえ（a参照☛P87）

↓ はい

無線LANアクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示LEDは緑点灯していますか？ →いいえ（b参照☛P87）

↓ はい

無線LAN通信はできていますか？
無線LAN端末（子機）からの接続の場合：無線LANアクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？ →いいえ（c参照☛P88）

↓ はい

パソコンにIPアドレスが設定されていますか？
（確認方法は、P88を参照してください） →いいえ（d参照☛P88）

↓ はい

無線LANアクセスポイント（親機）の設定が行えますか？
WWWブラウザ（クイック設定Web）で無線LANアクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？ →いいえ（e参照☛P89）

↓ はい

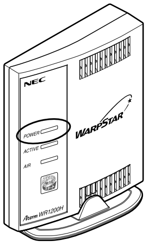
<PPPoEモードの場合>
設定後、無線LANアクセスポイント（親機）側面のACTIVEランプが点灯していますか？ →いいえ（f参照☛P90）
※ルータモード（ローカルルータモード）の場合は、ACTIVEランプは点灯しません。

<ルータモード（ローカルルータモード）の場合>
・WAN側IPアドレスが正しく表示されていますか？
・クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］－［状態表示］でWAN側IPアドレスが表示されていますか？ →いいえ（g参照☛P91）

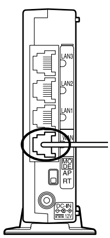
↓ はい

インターネットに接続できましたか？ →いいえ（h参照☛P92）

a.無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の POWER ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない  	電源が入っていません。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が外れている →AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ●AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しない

症　状	原因と対策
ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しない  	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない →ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートがブロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ●ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリー 5）」であることを確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）のブロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポート（LAN1）を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 ブロードバンドモデム／回線終端装置が故障している可能性があります。 点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。

5

トラブルシューティング

c.無線LAN通信ができない

症　状	原因と対策
無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）間の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、無線LANアクセスポイント（親機）や無線LAN端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
Windows Vista®およびWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●WL54GC（無線LANカード）およびWL54GU（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 いったんドライバを削除してから、もう一度、ドライバをインストールしてください。（☛P48、49）

d.パソコンにIPアドレスが設定されていない

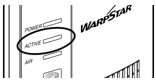
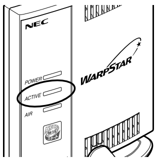
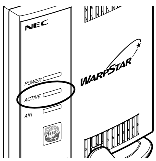
症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	●パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順でIPアドレスを取り直す ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IPアドレス（IPAdressまたはIPv4アドレス）が「192.168.0.XXX」になることを確認する

e.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① ［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ② ［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「❗無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☛P73）を参照してください。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（☛P30、34）
WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される 	●WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → ユーザー名には、［admin］を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。（☛P35） ●複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた無線 LAN アクセスポイント（親機）のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。（☛P32）

5 トラブルシューティング

f.PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の ACTIVE ランプが点灯しない

症　状	原因と対策
ACTIVE ランプが点灯しない 	●パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが速い点滅をしている 	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で ACTIVE ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
ACTIVE ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	●無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ●接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 　接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 　接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

g.WAN側IPアドレスが正しく表示されない

症　状	原因と対策
クイック設定Webの状態表示でWAN側IPアドレスが表示されない	●ブロードバンドモデム／回線終端装置がWAN側に接続されていることを確認してください。 ADSLモデムをご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ●接続事業者から指定されたIPアドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらくWebウィザード（☛「つなぎかたガイド」） クイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードがPPPoEブリッジモードの場合は本商品の動作モードはPPPoEモードでご使用ください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線LANアクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンのMACアドレスと無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20～30分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●無線LANアクセスポイント（親機）WAN側のIPアドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定Webの［情報］－［現在の状態］で［IP解放］をクリックしてから［IP取得］をクリックしてIPアドレスを更新してください。 ●CATV接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－［接続先設定］からドメイン名やホスト名を入力してください。 ●CATV接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－［接続先設定］からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ●CATV接続事業者によっては本商品のMACアドレスを申請する必要があります。 無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側のMACアドレスを申請してください。 ●クイック設定Webの「接続先設定」で「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

h.インターネットに接続できない

● ADSL/FTTH（PPPoE 接続）に関するトラブル

症　状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	●WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 → LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。(☛P34)
インターネット接続中に回線が切断される	●PPPoE モードの場合、無通信監視タイマで自動切断される場合があります。 無通信監視タイマはクイック設定 Web の［接続先設定］の［接続先の切断］で設定できます。
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、［IP 取得］を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 ［IP 取得］でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。 ●ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 → 次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」－「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.1.1"など左から 3 つ目を変更して、［設定］をクリックします。 (3) ［登録］をクリックします。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。(☛P72) これでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。
PPPoE 接続できない	●ユーザー ID とパスワードが間違っている → ADSL インターネット接続のユーザー ID は、「*******@biglobe.ne.jp」のように @ 以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザー ID とパスワードを再確認して正しく設定してください。 ●使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 → ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。

症　状	原因と対策
PPPoE 接続できない（つづき）	●パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista®/Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 → PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。 ●フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない	●IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 → 自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

● CATV 接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	●回線側の IP アドレスが取得できていない。 → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん［IP 解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。 ●他のブロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 → CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待ってから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 → CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらく Web ウィザード（☛「つなぎかたガイド」）でドメイン名やホスト名を入力してください。 ●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 → CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の［基本設定］－［接続先設定］または、らくらく Web ウィザード（☛「つなぎかたガイド」）からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td>WAN 側 IP アドレスが取得できない</td><td rowspan="2">●ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
●WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。
→ クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」をご確認ください。
IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。
[IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。
→ CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。
クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「要求する」のチェックを外します。
●クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。
●CATV ケーブルモデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。
→ 次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。
（1）IP アドレスを確認します。
WAN 側：クイック設定 Web の「情報」－［現在の状態］の「WAN 側状態」－「IP アドレス」が空欄になっている
（2）IP アドレスを変更します。
クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を"192.168.1.1"など左から 3 つ目を変更して、[設定] をクリックします。
（3）[登録] をクリックします。</td></tr>
<tr><td>しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまう</td></tr>
</table>

ユーティリティに関するトラブル

●無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web に関する問題

症　状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。（☛P84） ただし、クイック設定 Web の［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（☛ WWW 機能詳細ガイド）
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［登録］をクリックしていない → 各設定項目において、［設定］をクリックしても状態は反映されません。 左側フレーム内の［登録］をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。 
［登録］をクリックしたあとに、「ページを表示できません」と表示される	●無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動しているためです。 →［登録］をクリックすると、無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。

●らくらく無線スタートEXに関する問題

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートEXが成功しない	●無線LANアクセスポイント（親機)の暗号化が解除されている → 無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。（☛ 機能詳細ガイド） ●無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → 無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（☛ 機能詳細ガイド） ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスが無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。（☛P32） ●古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付のCD-ROMを使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWERランプが緑点滅状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順に従ってもう一度らくらく無線スタートEXを行ってください。 ●無線LAN端末（子機）（WL54GC/WL54GUなど）の他にネットワークデバイス（ETHERNETボードなど）が動作している → 他の無線LANカードやLANカードおよびLANボード機能を停止させてから、らくらく無線スタートEXで設定を行ってください。 ●無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線LAN端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない → 無線LANアクセスポイント（親機）に無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線LAN端末（子機）を利用する場合無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。

無線接続に関するトラブル

症　状	原因と対策
Windows Vista® および Windows® XP で、ドライバがインストールできない	●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 →「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。 ●WL54GC（無線 LAN カード）または WL54GU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 〈Windows Vista® の場合〉 いったんドライバを削除してから、もう一度、ドライバをインストールしてください。（☛「つなぎかたガイド」） ●上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次の手順で再インストールしてください。 〈Windows® XP の場合〉 ① ［スタート］－［コントロールパネル］をクリックする ② ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする ③ ［システム］アイコンをクリックする ④ ［ハードウェア］タブをクリックする ⑤ ［デバイスマネージャ］をクリックする ⑥ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする ⑦ ［NEC AtermWL54GC（PA-WL54GC）Wireless Network Adapter］または［NEC AtermWL54GU（PA-WL54GU）Wireless Network Adapter］を右クリックし、［プロパティ］を表示する ⑧ ［ドライバ］タブで［ドライバの更新］をクリックする 以降は、「www 機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●有線 LAN（ETHERNET ポート）のパソコンから、クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］で設定し直してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）側面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P84）出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は無線 LAN アクセスポイント（親機）の側面に記載されています。（☛P51、56）

症　状	原因と対策
「ワイヤレスネットワーク接続」で無線 LAN アクセスポイント（親機）がみつからない	●電波状態により「ワイヤレスネットワーク接続」で無線 LAN アクセスポイント（親機）の電波を検出できない場合があります。このような場合は、［追加］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］の「子機の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能」（SSID の隠蔽）を「使用する」に設定している場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」に応答しません。 ［追加］で直接ネットワーク名（SSID）を入力してください。 ●WL54GC（無線 LAN カード）または WL54GU（無線 USB スティック）のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。（☛P48、49） ●他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、Ethernet インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させていない場合は、WL54GC（無線 LAN カード）または WL54GU（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされないことがあります。LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させてから、設定を行ってください。（☛P45、46）
暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●有線 LAN（ETHERNET ポート）に接続したパソコンから、クイック設定 Web の［詳細設定］－［無線 LAN 側設定］で設定し直してください。 ●無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に戻してください。（☛P84）ネットワーク名（SSID）や暗号化設定（WEP キー）は本体側面のラベルの値に戻ります。（☛P51、56）
WL54GC（無線 LAN カード）または WL54GU（無線 USB スティック）が使えない	●「無線状態が良好なのに通信できない」（☛P100）を参照してください。

ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
時々通信が切れる 途中から通信速度が遅くなった 通信が切断されることがある	●ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 **＜IP アドレスの再取得＞** ＜Windows Vista® および Windows® XP の場合＞ ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す ③IP アドレス（IP Adress または IPv4 アドレス）が「192.168.0.xxx」になることを確認する
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE モード、ルータモード（ローカルルータモード）共通）	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、上記を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない（PPPoE モードの場合）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。
前回はできたのにインターネット接続ができない（ルータモード（ローカルルータモード）の場合）	●ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●ブロードバンドモデム／回線終端装置と無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定 Web の［情報］－［現在の状態］で［IP の解放］をクリックしてから［IP 取得］をクリックして IP アドレスを更新してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

症　状	原因と対策
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、またはデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 → クイック設定Webを起動して［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の［無線LANアクセスポイント（親機）設定］の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが2.4GHzモードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから4チャネル以上ずらすようにしてください。 ・ 無線動作モード2.4GHzモードの場合： 設定値 1～13 ●無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）が近すぎる → 1m以上離してください。
無線状態が良好なのに通信ができない	●〈IPアドレスの再取得〉（☛P99）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IPアドレスでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：無線LANアクセスポイント（親機）が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X） ●他の無線LANカードやLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。（☛P45、46）
無線LAN通信ができない	●「らくらく無線スタートEX」の設定中は、無線LANアクセスポイント（親機）は無線LAN通信ができませんのでご注意ください。 「らくらく無線スタートEX」の設定完了後、無線LAN通信が可能になります。
WL54GC（無線LANカード）、WL54GU（無線USBスティック）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（無線LANアクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている） → 電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある → 無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください（☛ WWW 機能詳細ガイド） ● ＡＶサーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線LANアクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・ クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

6-1 製品仕様

WR1200H（親機）ハードウェア仕様

項目			諸元および機能		備考
WAN インタフェース	物理インタフェース		8ピンモジュラージャック（RJ-45）×1ポート		
	インタフェース		ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX/10BASE-T）		Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度		100Mbps/10Mbps		
	全二重／半二重		全二重／半二重		自動判別／固定モード
LAN インタフェース	物理インタフェース		8ピンモジュラージャック（RJ-45）×3ポート		
	インタフェース		100BASE-TX/10BASE-T		Auto MDI/MDI-X対応
	伝送速度		100Mbps/10Mbps		
	全二重／半二重		全二重／半二重		自動判別
無線LAN インタフェース	IEEE802.11b		周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
			伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
			伝送速度（※1）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g		周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
			伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
			伝送速度（※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	アンテナ		ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ（※2）		SSID、WEP（152/128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）		
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯		
		ACTIVE	PPPセッション確立時緑点灯 無線LANアクセスポイントモード時橙点灯		
		AIR	データ送受信点滅		
	スイッチ		らくらくスタートボタン（SETスイッチ）×1、RESETスイッチ×1、ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ×1		
動作環境			温度0～40℃　湿度10～90%		結露しないこと
外形寸法			約27（W）×85（D）×110（H）mm		突起部分を除く
電源			AC100V±10%　50/60Hz		ACアダプタ使用
消費電力			5W（最大）		ACアダプタ含む
質量(本体のみ)			約0.11kg		
VCCI			VCCIクラスB		

※1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※2 Windows Vista® および Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP（152bit）の場合〉

Windows® XP（Service Pack1 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
Windows Vista® ではご利用いただけません。

〈TKIP、AESの場合〉

Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack2 以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

WL54GC（無線LANカード）仕様

項　目		諸　元		備　考
端末インタフェース		CardBus		
無線LAN インタフェース	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz） /1～13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度(※1)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz） /1～13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度 （※1）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）	
	アンテナ	ダイバーシティアンテナ（内蔵）		
	セキュリティ （※2）	SSID、WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×2		
利用可能端末		PC-AT互換機		
利用可能OS		Windows Vista® 日本語版かつ32ビット（x86版） Windows® XP日本語版（Service Pack 2以降）		
電源		DC3.3V×500mA		パソコンから給電
消費電力		1.7W（最大）		
外形寸法		約54（W）×120（D）×6（H）mm		
質量		約0.04kg		
動作環境		温度0～55℃　湿度10～90％		結露しないこと

※1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※2 Windows Vista® およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈TKIP、AESの場合〉

Windows Vista® またはWindows® XP（Service Pack 2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

WL54GU（無線USBスティック）仕様

項　目		諸　元		備　考
端末インタフェース		USB（USB2.0推奨※1）		
無線LAN インタフェース	IEEE802.11b	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式	
		伝送速度（※2）	11/5.5/2/1Mbps（自動フォールバック）	
	IEEE802.11g	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯（2400-2484MHz）/1～13ch	
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式	
		伝送速度（※2）	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps（自動フォールバック）	
	アンテナ	内蔵アンテナ（ノンダイバーシティ）		
	セキュリティ（※3）	SSID、WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）		
ヒューマンインタフェース		状態表示LED×1		
利用可能端末		PC-AT互換機		
利用可能OS		Windows Vista® 日本語版かつ32ビット（x86）版 Windows® XP日本語版（Service Pack 2以降）		
電源		DC5V×500mA		パソコンから給電
消費電力		2.5W（最大）		
外形寸法		約28（W）×75（D）×11（H）mm		キャップを除く
質量		約0.02kg		
動作環境		温度0～40℃　湿度10～90％		結露しないこと

※1 USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは別紙に示すお問い合わせ先のホームページでご覧ください。WL54GUのUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

※2 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※3 Windows Vista® およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈TKIP、AESの場合〉

Windows Vista® またはWindows® XP（Service Pack2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

7-1 別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。(製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。)

■無線LANカード
Aterm WL54GC(PA-WL54GC)
Aterm WL54SC2(PA-WL54SC2)、Aterm WL54SC(PA-WL54/SC)
Aterm WL300NC(PA-WL300NC)、Aterm WL130NC(PA-WL130NC)
Aterm WL54AG(PA-WL/54AG)、Aterm WL11CB(PC-WL/11C(B))
Aterm WL11CA(PC-WL/11C(A))、Aterm WL11C(PC-WL/11C)
Aterm WL11C2(PA-WL/11C2)、Aterm WL54AG-SD(PA-WL/54AG-SD1)

■無線USBスティック(USB2.0推奨)
Aterm WL54GU(PA-WL54GU)
Aterm WL54SU2(PA-WL54SU2)
Aterm WL54SU(PA-WL/54SU)
Aterm WL54TU(PA-WL/54TU)
パソコンのUSBポートに接続します。

■無線LAN USBボックス
Aterm WL11U(PC-WL/11U)
Aterm WL11U(W)(PC-WL/11U(W))
パソコンとUSBで接続します。

■イーサネットコンバータ、無線LAN ETHERNETボックス
Aterm WL54SE2(PA-WL54SE2)、Aterm WL54SE(PA-WL/54SE)
Aterm WL54TE(PA-WL/54TE)、Aterm WL11E2(PA-WL/11E2)
パソコンとETHERNETケーブルで接続します。

■ワイヤレスLAN外部アンテナ
(WL54AG用)(PA-WL/ANT3)
※WL54SC2、WL54SC、WL54GCでは使用できません。

電波状態が悪いときなど、WL54AG(無線LANカード)に接続して使用します。(WL54AG(S)、WL54AG-SDも含みます。)
ただし、周囲の電波状況や壁の構造(鉄筋壁、防音壁、断熱壁)などにより、改善状態は異なります。(改善できないこともあります。)

お知らせ

- オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップShop@Aterm(http://shop.aterm.jp/)でもご購入いただけます。
- WL11C/WL11U/WL11U(W)での暗号化はWEP(64bit)のみ対応になります。
- WR1200HはIEEE802.11aでの通信はご利用になれません。IEEE802.11b、IEEE802.11g通信でご利用ください。

索引

Ⓦマークの項目については、ホームページに公開している機能詳細ガイドで説明しています。

7
別売りオプション

[ア行]

[カ行]

[サ行]

[タ行]

[ナ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

[ラ行]

[ワ行]

MEMO

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. **License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:
Licensee grants the end user (“End User”) a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User’s archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User’s rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. **Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. **Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 (“Wind River”), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User’s use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. **U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be “commercial computer software” and “commercial computer software documentation”, respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be “technical data-commercial items” pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. **Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス（PDF）」を参照してください。

AtermStation ホームページアドレス

Aterm（エーターム）インフォメーションセンター

お願い

- お問い合わせの前に、あてはまる症状がないか「5-1 トラブルシューティング（☞P86）」をご確認ください。
- お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。
  - ●お名前
  - ●電話番号
  - ●本商品の機種名
  - ●添付の CD-ROM のバージョン
  - ●ファームウェアのバージョン
  - ●ユーティリティのバージョン
  - ●パソコンの機種名
  - ●ご使用の OS（Windows Vista® など）

  詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容など
- **パソコンの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**各パソコンのサポートセンター**などへお願いいたします。
- **回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、**各通信事業者またはプロバイダ**へお願いいたします。
- **アフターサービス**については、**別紙（「お問い合わせ・アフターサービス」）**をご参照ください。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。
NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WR1200Hシリーズ取扱説明書　第1版
AM1-000745-001
2008年3月

AM1-000745-001-